

令和7年度 京都府大会を振り返って

軟式野球専門部

令和7年度第78回京都府中学校総合体育大会・軟式野球の部は、今年度より出場校を8校に変更し、京丹後夢球場（丹後ブロック）の1会場で実施した。京都市ブロックから洛星中学校、蜂ヶ岡中学校、下京中学校、山城ブロックから長岡第二中学校、長岡中学校、口丹波ブロックから詳徳中学校、中丹ブロックから南陵中学校、丹後ブロックから江陽中学校が代表校として今大会に出場した。どのチームも各ブロックの代表として、最後まであきらめず、一生懸命プレーする姿で会場を沸かせた。

大会初日、第一試合は南陵中学校対洛星中学校。初回の守りからリズムを作り、洛星中学校が先制するも、4回に一気に2点を奪い、6回に追加点を入れた南陵中学校が3対1で勝利した。第二試合は下京中学校対長岡中学校。一進一退の攻防で序盤は3対3のまま中盤に進み、終盤に得点を重ねた長岡中学校が7対3で勝利した。第三試合は詳徳中学校対江陽中学校。終盤まで1対1の展開であったが、江陽中学校が7回に一気に4点を奪い、5対1で勝利した。第四試合は長岡第二中学校対蜂ヶ岡中学校。長岡第二中学校が序盤から得点を重ね、7対3で勝利した。

大会二日目、第一試合は南陵中学校対長岡中学校。南陵中学校は相手のエラーも重なり、初回に先制点を入れ、中盤に2点と得点を重ねた。終盤にも効果的に得点を奪って5対0で勝利し、近畿大会への出場権を獲得した。第二試合は江陽中学校対長岡第二中学校。1対1の同点で中盤に入り、1点ずつ得点を重ね、6回に打線が繋がった江陽中学校が、8対1の得点差によるコールドゲームで近畿大会への出場権を獲得した。決勝戦は南陵中学校対江陽中学校。序盤は得点を取り合い、4対3で中盤に進んだ。最終的に5回終了時点で13対3と点差が開き、得点差によるコールドゲームで南陵中学校が勝利した。

結果は優勝が福知山市立南陵中学校、準優勝が与謝野町立江陽中学校、第3位が長岡京市立長岡中学校、長岡京市立長岡第二中学校となった。

なお、優勝した南陵中学校は、昨年度まで4年連続の近畿大会出場を果たした日新中学校に勝利し、中丹ブロック代表となった。今大会後に迎えた第74回近畿中学校総合体育大会軟式野球の部において、第3位に輝き、近畿地区代表決定戦を勝利して、一昨年度の日新中学校に続き、京都府代表として2年ぶりの全国大会出場を果たした。

今大会は丹後ブロックだけでなく、各ブロックの軟式野球専門部から審判を派遣していただき大会を運営し、滞りなく大会を終えることができました。ご尽力いただいた京都府軟式野球専門部の先生方、各ブロックの軟式野球専門委員会の先生方、京丹後市軟式野球連盟・宮津与謝軟式野球連盟の方々および、すべての大会関係者に御礼申し上げます。ありがとうございました。

令和7年度 第78回京都府中学校総合体育大会 軟式野球の部	7月29日、30日
	会場 京丹後夢球場

第1試合 (8 : 45) (回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
南陵	0	0	0	2	0	1	0				3
洛星	1	0	0	0	0	0	0				1

第2試合 (10 : 36) (回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
長岡	0	3	0	0	2	1	1				7
下京	3	0	0	0	0	0	0				3

第3試合 (12 : 59) (回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
江陽	0	1	0	0	0	0	4				5
詳徳	0	0	0	1	0	0	0				1

第4試合 (15 : 30) (回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
長岡二	0	3	0	2	0	2	0				7
蜂ヶ岡	0	0	0	0	0	2	1				3

準決勝 第1試合 (8 : 41) (回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
南陵	1	0	2	0	1	1	0				5
長岡	0	0	0	0	0	0	0				0

準決勝 第2試合 (10 : 36) (6回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
江陽	1	0	1	1	1	4					8
長岡二	0	1	0	0	0	0					1

決勝 第3試合 (12 : 59) (5回コールド) (回時間コールド)

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9		計
南陵	4	0	0	6	3						13
江陽	3	0	0	0	0						3